

めっかりもうさん！

編集発行 熊毛支庁農林水産部農政普及課
西之表市西之表7590(TEL22-0053,22-0742/FAX22-1729)

(年3回発行)

普及活動 この1年

コロナ禍のなか研修会等は例年どおり実施できない状況でしたが、種子島の現状を踏まえた3つの課題について工夫しながら普及活動を展開してきました。その一部を紹介します。

1 種子島地域の農業を支える担い手の確保

新規就農者の定着に向けた現地検討会、青年農業者や女性農業者の資質向上や6次産業化推進、経営改善のための研修や個別相談等を実施し、種子島地域の農業を支える担い手の確保・育成に取り組みました。



令和4年度 新規就農者励ましの会



6次産業化推進研修会



農村女性リーダーネットワーク先進地研修in種子島



新規就農者巡回



青年農業者クラブ 中間検討会



農業経営発展研修会

○ スマート農業の取組

管内農業の省力化を図るため、関係機関・団体と連携してスマート農業機械・機器の普及、実証の支援を行いました。ドローンについては農薬散布の受託組織(さつまいも、水稻など)の活動も支援しました。



ドローンオペレーター養成支援



GPSレベラーによるほ場整備の試験

2 地域一丸となったさつまいも産地の育成・支援

サツマイモ基腐病の被害防止・軽減に向けて、地区プロジェクトチームの構成員である関係機関団体や生産者組織等との連携を図りながら、活動方針の作成や実証展示ほの設置、広報・研修会などによる対策の周知を図りました。

また、JAや公社等の増殖ハウスでの健全苗生産がなされるよう、関係者で定期的に巡回し健全苗供給を支援しました。さらに、重点対象農家に対しては苗床（月1回）及び本ぼ（月2回）の定期的な巡回やマニュアルに基づく対策を指導した結果、前年度に比べ苗床及び本ぼでの発病が減少しました。



関係機関担当者による育苗施設巡回



サツマイモ基腐病研修会



さつまいも担当者現地検討会（熊毛支場試験ほ場）



プロジェクトチーム先進地研修（九沖農研セ）

3 競争力ある種子島農業リノベーション（革新）

○ さとうきびの生産安定

さとうきびでは多収性品種「はるのおうぎ」の普及促進するとともに本品種に対応したハーベスタの改良（安全装置含む）を支援しました。



本格普及が始まった「はるのおうぎ」



茎数の多い「はるのおうぎ」収穫に対応したハーベスタ（試験機）

○ 活力ある花き産地の育成

レザーリーフファンの産地維持に関する意見交換や対策の検討、また、フェニックスロベレニーや新品目の産地化に取り組みました。



ヒサカキ系統選抜の取組支援



モデルハウス開発に向けた検討会



花き重点市場との交流会

○ 果樹の新技术・新品種の導入

タンカンでは、摘果や冬季落葉の少ないトロイヤーシトレンジ台の品質調査、マンゴーでは、燃油削減対策、パッションフルーツでは、育苗や収量向上技術を支援しました。



タンカン摘果講習



パッションフルーツ研修会（夏）



パッションフルーツ研修会（秋）

○ 肉用牛・酪農生産基盤の維持

肉用牛及び酪農生産基盤の維持のため、新規就農者への技術支援や規模拡大志向農家の経営計画支援、自給飼料率向上のため粗飼料確保対策等に取り組みました。



新規就農者への技術支援



飼料畑害虫発生踏査



冬作粗飼料実証ほの設置

○ 茶の生産安定技術の確立

イベントでの販売活動や先進地研修、今後の茶業について検討するなど、種子島茶のPR及び販路開拓に取り組みました。また、高品質な茶づくりに向け夏期の摘採について重点的に検討しました。



かごしまお茶マルシェへの出店



先進地研修（南薩地区）



今後の茶業についての検討会

○ 重点野菜の技術力向上支援

重点品目のスナップエンドウ、ばれいしょの生産安定対策技術・普及を図り、ブロッコリーの大規模モデル経営体を育成するため、実証活動、検討会等を開催しました。



スナップエンドウ栽培講習会



ブロッコリーの継続安定生産に向けた検討会



ジャガイモセンチュウ抵抗性品種の品種試験